



大阪府立大学大学院生命環境科学研究科学術報告投稿規程. 執筆要領

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-05-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/8953

Editorial Board

Editor-in-Chief	Professor	Minoru Ishii	(Environmental Sciences and Technology)
Editors	Professor	Naoya Kasai	(Applied Biochemistry)
	Professor	Mitunori Kiriha	(Bioinformatics)
	Associate Professor	Toshinobu Morikawa	(Plant Biosciences)
	Professor	Yoichi Nakamura	(Veterinary Science)

Scope: *The Scientific Report of the Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University* is official online journal of the Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University concerning to the disciplines in life and environmental sciences. One volume is annually uploading on Graduate School Library Home Page, containing articles (original and short research papers), reviews (doctor dissertation), notes and communication which were peer reviewed by anonymous referees or editorial board. One of the authors should be the professors or instructors of the Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Osaka Prefecture.

Note: *The Scientific Report of the Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University* is continued from the former periodicals, *The Scientific Report of the Graduate School of Agriculture and Biological Sciences, Osaka Prefecture University* (ISSN 1346-1575).

All correspondences on this issue should be addressed to the Dean of the Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, Sakai City, Osaka 599-8531, Japan.
Copyright: the Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University.

投稿規定

1. 本誌は大阪府立大学生命環境科学研究科で行われた学術研究の報告誌とする。
 2. 投稿資格は、生命環境科学研究科に所属する教員、教員を含む共同研究者（学生を含む）および編集委員会で認めた者とする。
 3. 記事は、原著論文、総説、短報および資料とし、いずれも未発表のものに限る。
 4. 原著論文は新しい研究成果を記述した論文、総説は論点を絞り、適切で複数の論文を引用し、著者の主張をよくまとめたものとする。学位申請論文の抄録は総説と取り扱う。短報は簡潔な研究成果を述べるもので再掲載を前提としない。資料は、データや記録写真など、研究成果として公表に値するものとする。
 5. すべての記事は、欧文または日本語とする。ただし、その他の言語で書くことが妥当と編集委員会で判断される場合はこの限りでない。
 6. すべての原稿は編集委員および編集委員会が依頼した審査員の審査を受ける。原著論文は、2名以上の審査員の審査結果をもとに編集委員会において掲載の可否を決定する。掲載可と判定された原稿はすべて返却しない。掲載不可と判定された原稿は、委員会よりの理由を付して著者へ返却する。
 7. 投稿論文は、別に定める執筆要項に従って作成し、正本1部および審査用のコピー1部（原著論文では2部）を随時、編集委員会へ提出する。
 8. 論文の長さ：原著論文は原則として刷り上がり10ページ以内、総説は原則として14ページ以内、短報は4ページ以内、資料は6ページ以内とする。製版にあたり特殊な作業を必要とする場合はその経費を著者負担として認めることがある。
 9. 冊子体および別刷りは作成しない。必要とする場合は全額著者負担とする。
 10. 投稿原稿が編集委員会へ提出された日を受領日とし、審査員よりの評定を受け編集委員長が掲載可とした日を受理日とする。
 11. 編集委員長は、毎年、11月30日までに受理と判定された記事を電子化し、翌年3月までにonline出版する。
 12. 記事の掲載順は、記事の分類ごとに受理日の順番とする。原則として原著論文、短報、総説、資料の順とするが、詳細は編集委員会の判断にゆだねる。
 13. 掲載された記事のコピーライト（著作権）は、編集委員会（生命環境科学研究科）に所属するものとする。
 14. その他 編集に関するその他の問題については、編集委員会においてその都度協議する。
-